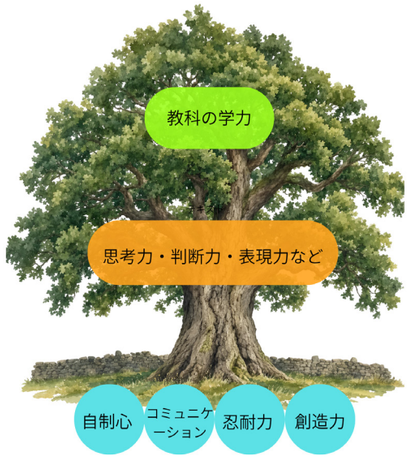
教育委員会だより

未来へのパスポート

～今月のテーマ～

目には見えない力を育む子育て

高千穂町の非認知能力育成と幼保小中高連携



図：成長とともに伸びる学力を樹木に例えた場合、「非認知能力」は地中にあるため見えませんが、成長に重要な「根っこ」の部分に位置します。

非認知能力とは

学力テストや知能テストなどのように数値化できる能力に対して、自己の感情をコントロールできる力、他者とのコミュニケーション力、目標に向かって粘り強く頑張る力、創造、工夫する力など、目には見えない、数値化できない能力をさしています。近年の研究では、非認知能力が人生の成功において大きく影響していることが指摘されています。

非認知能力を育むために

幼児期から学童期の「遊び」の中で獲得させるのが最も効果的とする説が多いのですが、一生を通じて獲得すべき「生きる力」であることを研究者も唱えています。

スマホなどを使いたいという欲求を自制し、一日の使用時間を1時間未満に抑制できれば、認知能力である「学力」も高い傾向を示す研究結果が示されています。

未来に必要な「非認知能力」を育むため、幼保園、小学校、中学校、高校で一貫して取り組む環境の構築を目指します。

高千穂GLOCAL（グローカル）

「グローカル」とはグローバルとローカルを掛け合わせた言葉です。

平成27年に高千穂郷・椎葉山地域が世界農業遺産(GIAHS)として認定されたことをきっかけに、高千穂町の良さ、素晴らしさを学び、地域の一員としての自覚を持つことを目標としています。

小学生…【GIAHSを知る】郷土のことを学び、観光資源について背景を理解する

中学生…【GIAHSを体験する】郷土についてより深く学び、地域の課題について考える

高校生…【GIAHSを活用・発信する】探究活動の実践や成果を発表・提案する

キャリア教育の推進

将来の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを目標としています。

対話型キャリア教育プログラム「ひなた場」の実施

町内の小学生と高校生、中学生と大人など、身近な人生の先輩との対話を通し、児童・生徒がこれからの生き方を考える機会を作ります。

地域おこし協力隊の そうなっちゃ！高千穂

半年を振り返り

こんにちは。地域おこし協力隊の山下七海です。着任して半年が経ち、仕事にもだいぶ慣れてきました。最近の活動内容をご紹介いたします。

宮崎ひなた暮らし移住・二地域居住相談会

9月27日（日）に東京都で開催された宮崎ひなた暮らし移住・二地域居住相談会に参加しました。高千穂町のブースには8組の方が来られ、町の特色、仕事情報、物件情報などいろいろな質問を受けました。参加して気づいたことは、高千穂町は観光地としての知名度は高いですが、移住先としてはあまり認知されていないということです。移住先としての魅力をアピールするための取り組みを考える必要があると感じました。



宮崎ひなた暮らし移住・二地域居住相談会

移住体験住宅のPR

移住への第一歩としては、実際に足を運び、その土地の暮らしや地元の人の様子を知ってもらうのが一番だと思います。上野地区にある移住体験住宅を利用された方からも、良かった点として「高千穂のリアルな暮らしを知れた」「地元の人と交流できた」という声をいただいています。

今年度は、移住を検討している方に移住体験住宅を知ってもらい、より多くの方の利用につなげるため、PRやサポート体制の充実に力を入れています。例えば、事前に移住にあたっての不安や気になることのヒアリングを行い、滞在期間中に必要な情報を提供したり、町内を案内したりすることで実際の暮らしをイメージしてもらえるように取り組んでいます。

氷川町災害ボランティア

9月12日（土）に熊本県氷川町の災害ボランティアに参加しました。一滴の会としてはコロナ禍以降初めての災害ボランティアとなりました。倒壊した家屋を目の前にして、その被害の大きさを改めて実感しました。微力ではありますが、少しでも被災された方のお役に立てたのなら良かったと思います。

おわりに

だんだんと日が暮れるのが早くなり、朝晩が冷え込むようになってきました。職場の先輩は昼休みに鈿女の舞を練習しています。先日は友だちと一緒に彫り物を作りました。高千穂に引っ越してきた感ましましの毎日です。

今年はこれまで以上にいろいろな地区の神楽を見に行けるので今から楽しみです。見かけた方はぜひ声をかけていただけると嬉しいです。



山下　七海
Yamashita　Nanami

令和8年4月企画観光課地域おこし協力隊として着任
NPO法人一滴の会へ出向し、移住相談、移住交流、空き家の調査や管理に関する業務を担当
サウナハットを手に入れました

NPO 法人　一滴の会

電　話：0982-83-0111

メール：office@itteki.org

Instagram はコチラ →

ITTEKI_NO_KAI